

第150回：「防災塾・だるま」 人的ネットワークによる防災まちづくりを提案

# 防災まちづくり談義の会

## 「防災・減災の課題を考えよう」

～基礎自治体が抱える災害対応上の課題と  
皆さんに期待される自助・共助～



講師：飯塚 智規氏

一般財団法人 消防防災科学センター研究員

政治学博士：専門は、防災行政、復興行政、ローカル・ガバナンス。

著書『震災復興における被災地のガバナンス』（芦書房、2013）

概要 地域防災には自助・共助が重要と言われるようになって久しいですが、そもそも、どうして自助・共助が重要なのでしょうか。なぜ行政による公助を期待すべきではないのでしょうか。近年の災害において、基礎自治体が抱えた災害対応上の課題を解説し、地域行政と地域住民による協働の観点から、地域住民による災害対応の重要性を考えていきます。



九州北部豪雨の被災地

一般財団法人 消防防災科学センター紹介

昭和52年4月に設立。地域防災計画策定支援、石油コンビナートの防災アセスメント、消防力適正配置など地方自治体の消防防災部門が直面している課題についての調査研究や情報提供。また住民の方々、自主防災組織など広く関係者を対象とする防災啓発事業を中心に活動している。

◆日時：2017年12月21日(木)  
16時～17時30分

◆会場：神奈川大学 1号館 804号室

◆参加費：無料（但し資料代100円お願いします）

◆申込み：不要（直接会場にお越しください）

主催「防災塾・だるま」

<http://darumajin.sakura.ne.jp>



3号室

次回のご案内 開催日時：H30年1月25日(木) 場所：神奈川大学 1号館 804号室  
テーマ：災害と公衆衛生（仮） 講師：横浜市健康福祉局 衛生研究所 所長 大久保一郎氏